

稲WCSを作いませんか？

耕種農家

作業が楽

夏場の水管理
がいらない

乾燥・調製
がいらない



Win-Win



耕畜連携

畜産農家

飼料費削減

輸入牧草が
高騰している

輸入稲わらが
手に入らない



「稲WCS」とは？

・・・イネ ^{ホール クロップ サイレージ} **W**hole **C**rop **S**ilage（稲発酵粗飼料）

稲の出穂後、実と茎葉を一体的に収穫し、**乳酸発酵**させた飼料。



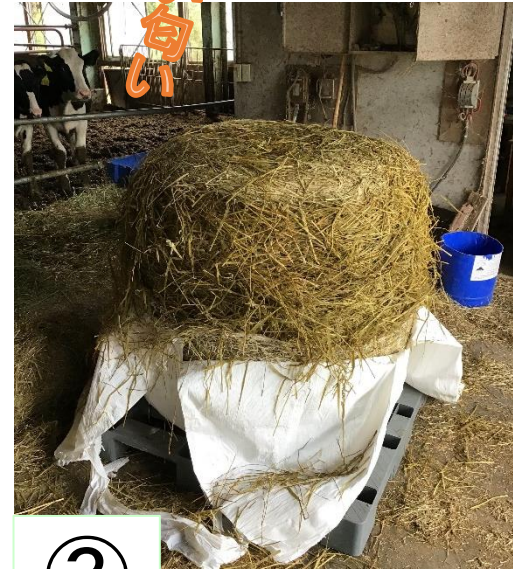
①

稲の出穂後に、刈取り、乳酸菌を添加して梱包する



②

ラップフィルムでしっかり巻き、密封する



③

1カ月程度乳酸発酵させた後、必要量を開封



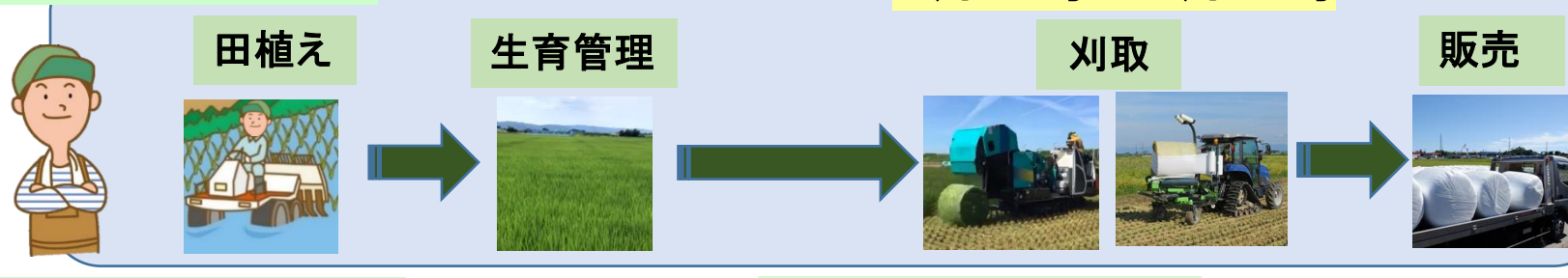
④

牛に給与する

稲WCSと主食用・飼料用米の作業比較

稲WCS耕種農家 A

7月下旬～8月上旬



稲WCS耕種農家 B

稲WCS耕種農家 C



	播種	生育管理	追肥	刈取	防除	乾燥	乾燥機械等清掃	機械導入	マッチング	交付金	販売代金
稲WCS 耕種農家 A	要	要	不	要	不	不	不	要	要	8万円	有 (+稲わら販売も可能)
稲WCS 耕種農家 B	要	要	不	不	不	不	不	不	要	8万円	無 (+契約による)
稲WCS 耕種農家 C	不	不	不	要	不	不	不	要	要	無	有 (+稲わら販売も可能)
飼料用米 耕種農家	要	要	要	要	要	要	要	不	要 (JAへ委託可)	5.5～10.5 万円	有 (全国流通だとごく少額)

※ 稲WCS生産は、飼料用米・主食用米生産に比べて手間がかからない！

稲WCSに取り組むと、、、

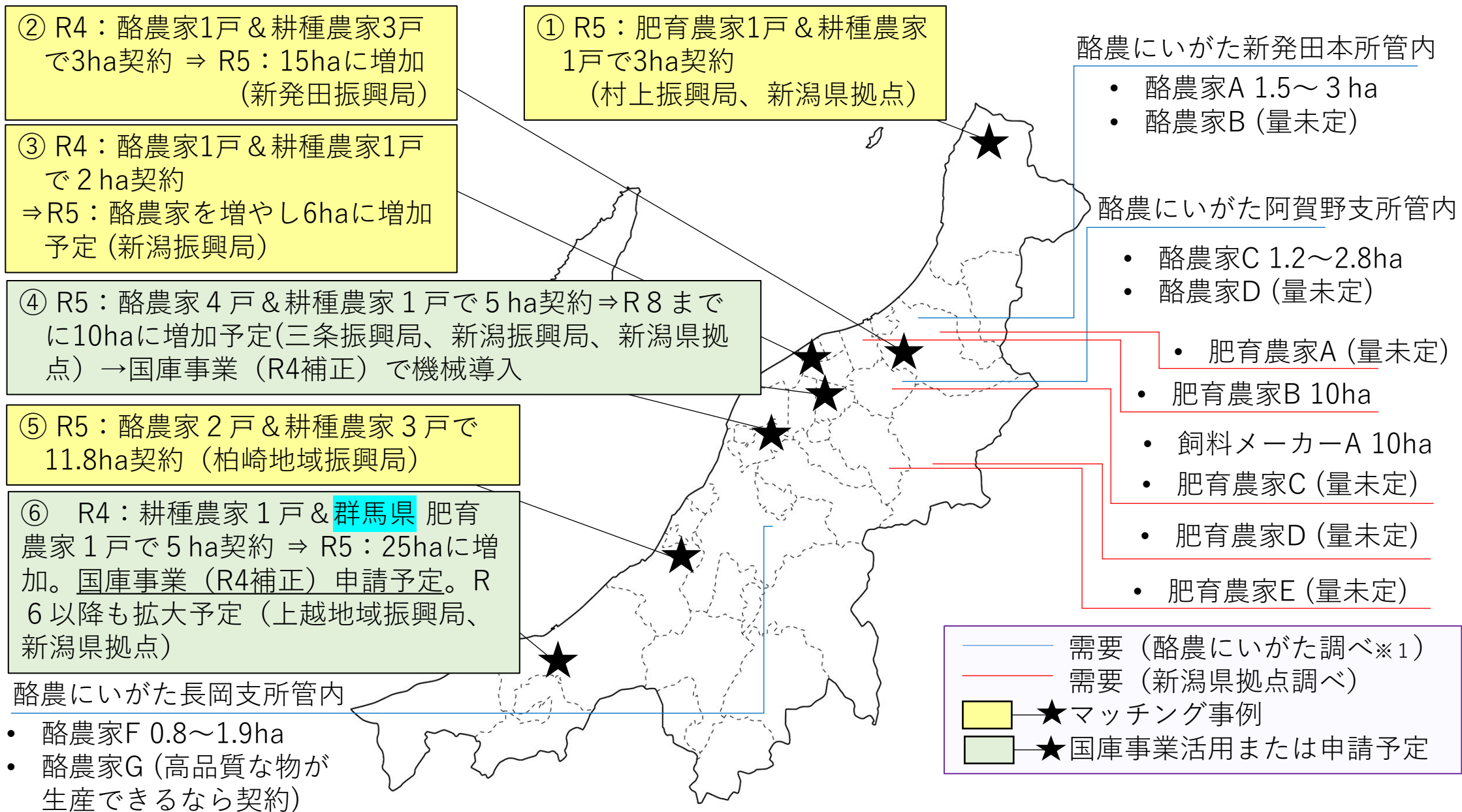
利点

- 夏場の水管理がいらない
- 追肥がいらない
- 夏場の防除がいらない
- 乾燥、調製がいらない
- 作期分散ができる
- ソバや秋冬野菜などとの二毛作ができる

難点

- マッチング相手の確保
- 刈取り機械の導入 & 機械保管場所の確保（リースや作業委託の場合は不要）
- 刈取り作業時に圃場が乾いていなければ、圃場が傷む

畜産農家の稲WCS購入希望/マッチング実績



※1 酪農にいがたでは、新潟県内酪農174戸のうち酪農にいがたに所属する63戸にアンケート調査。新潟県拠点では、優良農家取材時に聞き取り調査。そのため、新潟県内を網羅した調査結果ではない。

※2 稲WCSの収量を1.3t～3t/10aで必要作付け面積を試算

(おまけ) 稲WCS用に購入した器具を使えば、主食用米・飼料用米を刈り取った後の稲わらを販売することもできます。

< 稲わら (肉用牛向け) ・ 稲わらサイレージ (乳用牛向け) の生産 >



コンバインで稲刈り



コンバインの排出口を調節



「稲わらサイレージ」は
刈り取り後
2時間乾燥

「稲わら」は
刈り取り後
2日以上乾燥

排出された稲わら



ラッピングで完成



稲わらサイレージ
約250Kg

稲わら
約120kg

圧縮された稲わら



ロールベアラで梱包

新潟県が西区
で実施した
実証事例では、

稲わらサイレージの販売価格は約1.6～2.4万円/10a、
稲わらの販売価格は約1.6～2.0万円/10a

販売価格は、収量×単価

収量は、稲わらサイレージで800現物kg/10a、稲わらで400現物kg/10a

単価は、稲わらサイレージ20～30円/現物kg、稲わら40～50円/現物kg

ただし、稲刈り後の天候が悪いと回収できない可能性もあります。